

通告4番目、15番、増田浩二議員、発言席から一問一答方式で質問願います。

増田浩二議員。

○増田議員 皆さん、おはようございます。

15番、増田浩二。議長の許可を得ましたので一般質問を行います。

今議会では、通告に従いまして市民プールの跡地利用について、岩出駅周辺の整備についての質問を行います。当局の誠意ある答弁を求めるものであります。

この市民プールの跡地利用については、現在、総合体育館の南側に新プールの建設というときに、旧プールの跡地については、今後どのような利用方法とするかをしっかりと検討を行っていききたいと、この間されてきました。

このような中で、今回、堀口の交通公園のプールの跡地については震災公園という位置づけで利用がされるという方向が打ち出されて、改修の予算も出されてきています。

まず1点目に、このような防災面を初めとした震災公園というような活用方法、こういうような形の中で、基本的なあのプールの活用方法、これを改めてお聞きをしたいと思います。

2点目に、既存の交通公園部分として、現在、堀口の交通公園は利用されています。今回、新しくプールの跡地であったこの部分と既存の公園部分については、どのような関連性を持った公園へと改善を行っていくのかと。この点を2点目としてお聞きをしたいと思います。

3点目として、地域の一時避難所的な役割を果たすということも説明がされました。備蓄倉庫等を設置するというのも、この間の質疑を通じて説明をされてきましたが、震災公園というような冠をつける以上、市民に震災面での対応や避難所となる施設を建設してこそ意義がある公園となるんじゃないでしょうか。新たな公共施設面については、どのような対応をとるつもりなのかという点をお聞きしたいと思います。

4点目として、同じように廃止をされたプールとして、上岩出の市民プールというものがあります。このプールについてはどのような跡地利用を考えておられるのか。先ほど、福山晴美議員のほうからも若干ありましたけれども、改めて私のほうからも、この点についてはお聞きをしたいと思います。現時点で方向性というようなものなんかは出ているのかどうかと。

5点目として、以前からも何度も取り上げてきた問題があるんですが、上岩出プールについては、以前からも投票所というようなものが設置もされてきたという経

緯なんかもございます。周辺地域にも公共的役割を果たす、そういうような施設というのが、この辺の地域にはございません。このような現状を改善する、こういうような上においても、また、現在、皆楽園が選挙の投票所として利用されているというような現状を改善する上でも、投票所という形で利用できる公共施設というものを考えるべきではないのかということなんかも、随分以前から提案もしてまいりました。今度、実際にこの上岩出のプールが廃止されるに当たって、市民が活用できる、こういうコミュニティ施設というようなものなんかも含めて考えるというようなことなんかは、市として考えないのかという点、この5点について、まずお聞きをしたいと思えます。

○田畑議長 ただいまの1番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長。

○中芝市長 増田議員ご質問の1番、堀口プールの跡地利用についてですが、昨年は大阪北部地震、北海道胆振東部地震、本年では新潟・山形地震など、各地で地震が発生しております。本市においては、いつ発生しても不思議でない南海トラフを震源地とする巨大地震、また、中央構造線を震源地とする巨大地震などが懸念されます。このようなことから、緊急防災・減災対策事業債を活用して、堀口プールの跡地を利用し、平常時には交通公園を含めた市民に親しまれる公園として、災害発生時には一時避難場所としての機能を備えた防災公園として整備を進めるものであります。

なお、詳細につきましては担当部長から答弁させます。

それから、増田議員が震災公園と申してありますが、市のほうでは一度もそういう話はしたことがございません。防災公園でございます。

○田畑議長 総務部長。

○大平総務部長 増田議員ご質問の1点目、堀口の市民プールについては、震災公園での利用が計画されているが、震災公園としての基本的な考え方を聞きたいについて、お答えいたします。

堀口プールの跡地につきましては、地震等の災害発生時に一時的に緊急避難する地域避難場所として、防災資機材を保管する備蓄倉庫を初め、災害時にかまどとして使用可能なベンチや応急救護所棟として使用可能な東屋、防災活動用の空き地などの機能を備えた防災公園として、本年度に設計及び工事を行います。

次に、2点目の既存の交通公園部分については、どのような関連性を持った震災公園と改善を行っていくのかについてですが、平常時は市民に親しまれる公園とし

て、既存の交通公園部分に加え、プール跡地部分について整備を行ってまいります。

次に、3点目の地域の一時避難所的な役割を果たすと説明がされ、備蓄倉庫等を設置するとしているが、震災公園という冠をつける以上、市民に震災面での対応や避難所となる施設を建設してこそ意義がある公園となるのではないかについてですが、防災公園は、あくまで地震等の災害発生時に一時的に緊急避難する地域避難場所としての整備を予定しており、避難所となる施設の建設予定はございません。

○田畑議長 教育部長。

○湯川教育部長 4点目、5点目について、一括してお答えいたします。

東公園プールの跡地利用につきましては、先ほど福山議員のご質問にもお答えいたしましたとおり、現段階においては結論は得てございません。投票所として利用できる公共施設というご提案ですが、現段階におきましては、市の財政事情を基本に、公共施設の地域性・必要性、周辺の家屋等の状況を踏まえ、結論を出していくという考えでございますが、東公園は都市公園に指定されておりまして、建築物の建設への制限や埋蔵文化財包蔵地であるということも検討材料となります。

いずれにしましても、引き続き検討を進め、結論を得たいと考えてございます。

○田畑議長 再質問を許します。

増田浩二議員。

○増田議員 私の通告では、震災公園という形にさせていただいたんですが、市のほうでは防災公園だということでした。どちらにしても、防災公園という、こういう名前というのが、今回、新たに出てきたのかなというふうな感じも受けるんです。そういう点では、先ほど市長のほうからも、地震という面では、いろんな面で市としても対応していくんだという、そういう意気込みなんかも感じられると思うんです。

そういう点では、この防災という、災害ですね、災害という点では、市としての計画面でいえば、地域防災計画とか水防計画というのが、実質的な実施主体というふうになると思うんですね。そういう点では、こういう計画の中での防災公園というような位置づけについては、どのような位置づけにされているのかという点、この点を改めてお聞きをしたいというふうに思います。

それと、上岩出のプールについては、改めて地域の実情という面なんかも知っていく必要が私はあると思うんですね。上岩出プールの周辺、ここにどれぐらいの人口がおられるのかと。そういう点では、住民課のほうにもお聞きをしたいと思うんですが、上岩出のプール周辺、西国分、岡田地域の北部のほうですね、新田広芝は

南側の地域の人ですね。岡田のほうについては北部の地域の人なんかが、少なくとも上岩出のプール周辺におられると。こういう点では、少なくとも、今の新田広芝、西国分、岡田と、ここでどのぐらいの人口の方が住んでおられるのか、お聞きをしたいと思います。

○田畑議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育部長。

○湯川教育部長 上岩出の東公園プール周辺の人口のご質問がございました。令和元年6月末現在の人口で申し上げますと、岡田地区が2,403人、新田広芝地区、1,811人、西国分が2,621人でございます。

○田畑議長 総務部長。

○大平総務部長 増田議員の再質問にお答えいたします。

新たにつくります防災公園についての各種計画での位置づけはどうするのかというところでございますが、これは完成した場合は、一時避難場所として各計画に盛り込んでいく予定でございます。

○田畑議長 再々質問を許します。

増田浩二議員。

○増田議員 今、上岩出プールの周辺、人口なんかもお聞きをしました。私も、朝、住民課のほうに行って、一番新しい人口、これを欲しいんだ、教えてほしいということもさせていただいて、今言われた地域、この地域だけでも、少なくとも、この周辺を見ますと6,000人ぐらいおられるんですね。これ以外にも水栖の地域の東側部分、南大池の南側部分のところにも関連する地域というのはございます。

こういう点でいうと、やはり上岩出プール周辺のところには、岩出市全体からの人口から見ても、本当に何分の1かの方なんかが住まわれておられるわけです。こういう人たちの今後の生活なんかも含めて、市としても上岩出プールの跡地については、あれしっかりと考えていく、こういう必要性が私はあると思います。

こういう点では、市として、あの上岩出のプール跡地、今、実際には少子高齢化という部分になってきている中で、こういう高齢化に伴う部分の介護とか健康促進施設、また住民とともに歩いていく、こういうような施設なんかも、やはりしっかりとこういうことを念頭に置いて、やはり考えていくべき課題だというふうに思うんです。

こういう点では、都市公園なんで、需要というのが限られるんだということをおっしゃっていただきましたけれども、市としても、やっぱりこの辺のところをしっかりと議論もし

ていただきたいというふうに私は思います。

この点で、改めて再度、活用方法なんかどう考えていくのかという点、お聞きをしたいというふうに思うんです。

それと、堀口の交通公園ですね、これについては、先ほどから防災公園だというようにことなんかも言われていますけれども、通称、あの堀口については交通公園という名称で呼んでいます。今度、新しく震災公園という部分をつくっていくという部分の中で、名前ですね、市として、管理運営上していく、そういう部分では、名称としてはどういう名称で、あの公園というのと呼んでいくつもりなのか、この点について、改めてお聞きをしたいと思います。

それと、あの堀口の交通公園と、今回、防災公園という形でされる部分については、管理運営上ではどこが今後管理していくのかという点、この点もお聞きしたいと思います。

それと、教育委員会としても、災害対策面という部分の点の上において、実際にはプール跡地の利用方法ですね、これについては、教育委員会として、このような活用方法をしてほしいんだというような提言というんですか、そういうのはどのように、教育委員会として提案をしてきたのか。この点については、教育長なんかの考えなんかもいろいろ、やはりあるかと思うんですね。そういう点では、教育長を初めとして当局ではどのような提案をされてきたのかという点、この点もお聞きをしたいというふうに思います。

それと、ちょっとダブるかわかりませんが、上岩出プールなんかについては、公共施設面という点については必要な土地なのかどうかと、地域なのかどうかという点もどのように考えておられるのかという点、この点、ちょっと改めて、追加になるとは思いますけれども、ダブるかもわかりませんが、再度お聞きしたいと思います。

○田畑議長 ただいまの再々質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育部長。

○湯川教育部長 増田議員ご質問ですが、東公園の跡地利用につきましては、議員ご指摘のとおり、公共施設を建てる場合は、まず地域性とか必要性、あるいは周辺の状態、これは当然、前提ということでございます。

今回、その課題となっておりますのは、東公園プールの敷地、これすぐ近くに西国分塔跡といいまして、史跡がございます。それから、このプールを含む地域一帯が西国分廃寺とか西国分遺跡、この埋蔵文化財の包蔵地となっていると、これが1

つ。それから、東公園そのものが都市公園法に定められた都市公園ということで、建築物の建設面積に条件が定められていると、こういうことでございます。こういったさまざまな条件がございますので、結論に至るのは大変難しいというのが実情であるということでございます。

それから、教育委員会として何か提言したのかということですが、東公園につきましても、引き続き一時避難場所として、これ機能はそのままでございますので、災害発生時には一時避難所としての機能を持った公園としても利用できます。

また、堀口につきましても同じ考え方で、災害発生時には一時避難場所としての機能を備えた防災公園としてということで、提言という形ではしてございませんが、お話をさせていただいております。

○田畑議長 総務部長。

○大平総務部長 増田議員の再々質問にお答えいたします。

まず堀口プールの跡地の名称、防災公園、交通公園と隣接しているんですけども、その名称についてということですが、現時点では、まだそこまで決まっておきませんが、機能としては防災公園の機能をつけるということですので、そういう観点から考えていくことになると思います。

それと、堀口プールの跡地の管理運営はどこがするのかということですが、防災公園として整備をしますので、総務課のほうになります。

○田畑議長 これで、増田浩二議員の1番目の質問を終わります。

引き続きまして、2番目の質問をお願いします。

増田浩二議員。

○増田議員 2点目に、岩出駅周辺における整備の問題についてお聞きをしたいと思います。

この岩出駅周辺の整備という点においては、私もこれまでも何度も質問を行ってまいりました。古くは、もう30年近く前になります。先々代の岩出町長の林町長の時代から、この岩出駅周辺の整備というのは、当局のほうからも、その必要性というのが言われてきたと。この間、和歌山線の廃線の危機という時代や経済面においての大型公共工事の自粛、その他いろいろな変遷はありましたが、周辺整備の必要性、これがうたわれながらも、対策面はとられていないというのが現実だと思います。

中芝市長において、駅前駐輪場の整備、前中村町長時代の駅前図書館の建設などはありますが、岩出市として、今後の対応面については、この駅前の周辺整備、ど

のように考えて取り組もうとしているのか、まず最初にお聞きをしたいと思います。

2点目として、これまでも長期基本計画の中にも触れられてきているわけなんです、今度、新規に長期のこういう計画が策定されようとしていくわけなんです、この長期計画には、駅前周辺整備の整備という点ではどのような位置づけとして考えておられるのか、これを2つ目にお聞きしたいと思います。

3点目に、和歌山線の利用者というのも、この間ふえてきている中で、駐輪場面、この面において、今後の整備計画というのとはどのように考えておられるんでしょうか。

また4点目に、現在、タクシー乗り場も、今、JRの駅の庁舎の南側にあります。そのタクシー乗り場の前、ここが空き家の張り紙、こういうものが、この間、出てきていますし、現在、空き家状況というんですか、こういうような状況になってきています。この駅前、どこの自治体でもそうなんですけれども、再開発という点においては、立ち退きの面での協議というのが非常に難航するというのがよく言われるわけなんです、周辺整備や再開発面でのJRも含めたこういう周辺地域の方々との議論、そういう点については、市としては今後どのような方向、また、どのような考え方を持って対応していくのかという点、この点をお聞きしたいと思います。

5点目として、現在、JRにおいて、来年3月でしたかね、めどにエレベーターというものが設置をされると。改善が図られようとしてきています。この駅前周辺整備という点においては、JRさんなんかとの協議、こういう協議なんかは、この間、どのように進められてきたのかという点、この点もお聞きしたいと思います。

最後に、6点目として、最終的に、岩出の駅周辺の将来構想と、こういう面についてはどのような岩出市の玄関口となる岩出駅周辺にしていきたいという構想を持っているのか、この点、最後にお聞きをしたいと思います。

○田畑議長 ただいまの2番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長。

○中芝市長 増田議員ご質問の2番目、岩出駅周辺における整備についてをお答えいたします。

岩出市では、人口減少時代に対応した魅力ある岩出市づくりを基本目標に、将来都市像である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、さまざまな施策に取り組んでいるところであります。

現在、本市では、交流人口の増加を図る最も有効な手段の1つとして、道の駅ね

ごろ歴史の丘を活用しながら、観光振興に取り組むとともに、特に人口対策につながる施策を重点かつ優先事業と位置づけ、魅力あるまちづくりに取り組んでいるところでございます。

岩出駅周辺における整備についてであります。岩出駅は本市の玄関口であり、駅前の活性化が期待されていることは認識をしております。しかし、事業を進めるに当たり、地域住民や地権者の協力、民間事業協力者の参入があつてこそ進むプロジェクトであるため、総合的な見地から、慎重に見きわめてまいりたいと考えております。

今後市市の将来像である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、健全財政の堅持に努めながら、総合的にバランスよく行政を進めていくことが最大の課題と考えておりますので、岩出駅周辺における整備計画も含め、引き続き住民サービスの向上を念頭に、各諸施策の推進に努めてまいります。

なお、詳細につきましては各担当部長から答弁させます。

○田畑議長 市長公室長。

○久嶋市長公室長 増田議員ご質問の2番目、岩出駅周辺における整備の1点目、2点目、4点目、5点目、6点目について、一括してお答えいたします。

岩出駅周辺の整備につきましては、岩出市長期総合計画において、住んでよかったと思えるまちづくりを大綱に掲げ、基本方針や具体的な施策を定めており、公共交通の結節点となるJR岩出駅周辺等の整備については、都市核の整備として、関係機関と連携し、交流空間の拡充や沿道整備などの促進に努めているところでございます。

そのような状況の中、市の施設整備事業といたしましては、駅前通りの街路灯整備や立体駐車場の建設を行いながら、駅前周辺の環境向上に努めているところでございますが、周辺整備との関係の協議や大規模な再開発の予定はございません。

一方、JR岩出駅につきましては、さらなる利便性向上とバリアフリー化を図るため、エレベーターの新設やスロープ、多機能トイレの新設等を行う駅舎の改修工事が行われており、令和2年3月に工事完了予定と聞いております。

また、本年度から令和2年度にかけて策定する第3次岩出市長期総合計画についても、引き続き整備促進に努めてまいりたいと考えておりますが、策定に当たっては、今後開催する岩出市長期総合計画審議会において、課題や方向性等を示しながら慎重に検討してまいりたいと考えております。

次に、岩出駅前及び駅周辺については、地方都市で見受けられるように、シャッ



ターのおりた商店があることを認識しておりますが、岩出駅周辺の構想につきましては、先ほど市長が答弁いたしましたように、慎重に見きわめてまいりたいと考えております。

今後も市の将来都市像である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、まちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

○田畑議長 生活福祉部長。

○前芝生活福祉部長 増田議員ご質問の3番目、駐輪場面の今後の整備計画はについて、お答えします。

J R岩出駅周辺の駐輪場については、J R岩出駅前駐輪場と駅前ライブラリー駐輪場、岩出地区公民館駐輪場の3カ所で、約700台を収容しております。

しかしながら、朝の通学・通勤時間帯は混雑し、満車状態になることが多いため、1台でも多く利用できるよう、駐輪場の整理業務を委託しているところであります。

ご質問の今後の駐輪場面の整備計画につきましては、少子高齢化により利用者数の減少も予想されることから、現状では計画しておりません。

○田畑議長 再質問を許します。

増田浩二議員。

○増田議員 今、市長からも答弁ありました。岩出駅周辺については、慎重に見きわめていく必要があるんだという答弁でした。こういう形では、実際には現時点では、岩出駅前の周辺整備というのは、今後も、多分、今のこういう状況の中では進まないというふうに思うんですね。

実際には、長計の中でも議論もしていくというふうに言われているわけなんですけどね、実際には、長期計画、この計画の中で、今度の策定委員さんに、実際にはどのように議論をしていただくのかという点。

そして、もう1点は、現状は、多くの人たちは、岩出駅前のあの混雑する状況なんかも、やっぱり改善してほしいんだという声は本当にたくさん上がってきているんですね。それをやっぱり少しでも改善していくという対応が求められている中で、慎重に対応しているのは結構なんですけど、やはり少しでも前に進めていけるような、そういう対応というのが、今の岩出市に本当に求められてきているというふうに思うんです。

現実的には、今、この議場でも、副市長なんかも座っておられるんですけどね、副市長は現職の時代からも総務畑一筋だったと思うんです。課長時代、部長時代、

そして現在の副市長時代、いわばこの岩出市のこういう行政の中身というのを本当によく知っておられる、経緯も含めてですけどね、方だと本当に思うんです。実際には、私とも、何度も、この間、やりとりなんかもしてきました。そんな中で、現実的にはなかなか対応が進められてこなかったという、今後のそのときなんかは、今後の検討課題だということなんかを盛んに言われていたんですね。

それなんかでも、もう何十年も前からになる。そういう点では、やはり市としても、やっぱり今後の方向性というのを市民の皆さんと一緒にあって、駅前の改善策というのに、やっぱり取り組んでいく必要がある時期に来ていると思うんです。慎重に取り組むのは構わんと思うんですが、私は、少しでもそれが今改善できるような方向、前へ行けるような、そういう方向で進んでいただきたいというふうに思います。

改めて慎重に対応していきたいんだということなんですけども、改めて慎重に対応していく、その中身について、改めて、今後どんな形の対応を慎重に進めていくのか、その中身について改めてお聞きをしたいというふうに思います。

もう1点は、駐輪場の問題です。駐輪場なんかも、今、700台確保しているんだということを言われました。やっぱりそんな中でも、やはり市として、駐輪場問題というのは、やっぱりより多くの方が利用していただくという上においては、少なくとも、今後、新たな整備とか増設面というのなんかも、今の現状では考えないという、少子化ということを理由に言われたんやけども、改めてその辺のところを議論とか検討、特に岩出公民館の近くに駐輪場ってあると思うんですが、あそこなんかも、少なくとも2階建てにするとか、そういうふうな改善策というのも含めて考えてはどうかというふうにも思うんです。

そういう点で、改めて周辺整備で駐輪場が要るか要らんのかということを実際にはどのような形で、市として検討していくのか、その辺の状況調査とかというのはどのようにしていくのかという点、この点だけちょっと再度お聞きしたいと思います。

○田畑議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長公室長。

○久嶋市長公室長 増田議員の再質問にお答えいたします。

まず、長期総合計画の策定委員会での議論についてはということなんですけど、先ほども市長の答弁でありましたが、地域住民や地権者の協力があってこそできるものであります。ですから、そういう課題やシャッターのおりた商店があるというこ

とを課題として、委員会で説明しながら、方向性を示していきたいと考えております。

それと、前に進めていけるようなということなのですが、現在、岩出市では、京奈和自動車道全線開通や県道泉佐野岩出線の完全4車線化に伴い、和歌山県の玄関口に設置している道の駅ねごろ歴史の丘を活用しながら、現在、観光振興施策に取り組んでいるところでございます。

それと、公共下水道整備工事についても、年次計画的に事業を進めるなど、地方創生の取り組みを着実に進めているところでございますので、ご理解を賜りたいと思います。

○田畑議長 副市長。

○佐伯副市長 増田議員の再質問にお答えいたします。

駅前周辺整備がなかなか進まないということで、私が総務部在籍時代にかなりかわっていたというふうなご質問内容かと思えます。

まず言っておきたいのは、進んでいないということでございますけど、決して進んでないということではないと私は考えております。公共交通の利便性向上のために、岩出駅を初めとして、紀の川コミバスの乗り入れ、連携の問題であるとか、巡回バスの乗り入れの円滑化、それから、大阪方面バスなどと連携、乗り継ぎ等に取り組んでいるところでございまして、現在、岩出駅を利用する方については、通勤・通学の利用者が多いということ、そういうことから考えまして、駐輪場の整備を平成16年に建設した経緯がございます。

あと答弁させていただいたように、駅前の街灯、この整備も既に図っております。今般、岩出駅については、JRさんのほうと県と市の補助金を出していただいてバリアフリー化にも着手して、現在、エレベーター、スロープ、多機能トイレなどの駅舎の改築が行われると、こういう状況であります。

議員ご質問の周辺整備ということとなりますと、今現在、市のほうで考えているのは、公共交通の結節点としての利便性を向上すると、こういうことで進めさせていただいておりますけども、駅前の再開発となりますと、非常に、先ほどから説明させていただいているように、地権者の協力であるとか、あるいは事業者の協力・参入、これが不可欠であります。すごい大きなプロジェクトとなることが予測されます。

そういうことから勘案すると、事業の実現には、行政・民間一体となって取り組んでいかなければならないんですけども、多大な時間とか費用とか、そういうふう

なものも必要となると思います。現時点で考えますのに、そういうふうな状況を踏まえると非常にリスクが高いといいますか、課題、ハードルが高いように思います。

そういうことを勘案した中で、今後は慎重に対応していくべきだと、こういうふうに考えておりますので、よろしくご理解のほど、お願いいたします。

○田畑議長 生活福祉部長。

○前芝生活福祉部長 議員ご指摘の駐輪場についてですが、現在、駐輪場について、通勤・通学時間帯については満車になるということは理解してございます。駐輪場の整備計画については、現状では計画してございませんが、1台でも多く利用いただけますように、夏休み等につきましては、長期間放置している自転車の撤去を行ったり、それと整理業務を委託して、少しでも皆様方がとめていただけるようにしているところでございます。

○田畑議長 再々質問を許します。

(なし)

○田畑議長 これで、増田浩二議員の2番目の質問を終わります。

以上で、増田浩二議員の一般質問を終わります。